えがお　ふれあい　たかめあい
きらり　かがやく
あざニっ子

横浜市立あざみ野第二小学校
スマイルあざニっ子～10月号
第7号　令和3年10月19日発行

スマイルあざニっ子」は、子ども達に直接伝えるために、プリントで配布します。ご家族でもお子さんといっしょにお読みいただけると幸いです。（学校ホームページにも掲載します。）

できないときは「たし算」で考えよう

校長　宇都宮　桂

運動会の練習も進み、演技やかけっこ、とても上手になってきました。30日（土）の運動会当日がとても楽しみです。当日まで、健康に気を付けながら練習に励んでください。

さて、演技の練習で「動きが覚えられない」「上手に踊れない」とか、かけっこの練習で「速く走れない」「スタートで遅れてしまう」とか不安や心配な気持ちになっている人がいました。できないことが気になり、自信がもてなくなっているようでした。

ＡさんとＢさんは、演技の練習で「①動きが遅れてしまう」「②右と左をまちがえておどってしまう」「③新しい動きを３つ練習しても、２つ忘れてしまう」と課題がありました。そこで、ＡさんとＢさん二人は、この課題をどのように考えたのかを紹介します。

Ａさんは「①動きが遅れてしまう」「②右と左をまちがえておどってしまう」「③新しい動きを３つ練習しても、２つ忘れてしまう」とできないことばかりに目がいって悩んでいました。そして、「あれもできない」「これができない」と考え、自信をなくしているようでした。

「動きがおくれる」など、できないこと＝「ひくこと（マイナス）」なので、算数で考えると「ひき算」だと思います。

【めあて】演技ができるようなる － ①うごきがおくれる － ②右と左をまちがえる － ③３つおぼえると２つわすれる ＝ あれもできない　これもできない　どうしよう

このように考えはじめると、不安や心配な気持ちが強くなり、自信をなくしてしまうのだと思います。できないところを振り返り、「どこが足らないのか」「どんな練習をすればよいのか」と考えたり、楽しみながら練習を

続けられたりすればよいのですが、「もう練習したくない」「演技がきらい」「運動会、大丈夫かな～」となってしまったら、大変です。

次は、Ｂさんの考え方です。ＢさんもＡさんと同じように①～③の課題があります。しかし、ＢさんはＡさんとちがう考え方でした。

Ｂさんは、①～③のことについて、このように考えました。

①うごきがおくれる → ①おくれるけど、うごきはおぼえている

②右と左をまちがえる → ②右と左を反対にやればあっている

③３つおぼえると２つわすれる → ③でも、１つはぜったいおぼえている

できていることもある。やればできそうだ。がんばろう

Ｂさんは「できない」ことだけ見るのではなく、練習の中で「できていること」や「できそうなこと」に目を向けて考えました。すると、「できているもの」があることに気づき、「やればできそうだ」という気持ちが生まれ、「がんばろう」と思えてきました。

【めあて】演技ができるようなる ＋ ①うごきはおぼえている ＋ ②左右反対にやればあっている ＋ ③１つはぜったいにおぼえている ＝ できている自分 できそうな自分 自信が生まれる

今、できていること＝「たすこと（プラス）」なので、これが「たし算」の考え方です。

できないこと、つらいことなど、大変だな～と思うことがあると、どうしてもマイナスに考えてしまいます。すると、心が重たくなり、「きらいだ」「やりたくない」となりがちです。そこで、できないこと、つらいことがあっても、今できていることやできそうなこと＝「プラス」なところを見つけると、「できていることもある」「できそうだ」「がんばれそうだ」と心が軽くなり、自信が生まれてきます。これが「たし算の考え方」です。授業でも、宿題でも、習い事でも「たし算の考え方」で、「できていること」や「できそうなこと」を見つけ、「やればできそうだ」という自信をもって取り組んでほしいと願います。チャレンジあざ二っ子＝めあてに向かってチャレンジする姿を大いに期待します。

最後に、運動会の演技は動きも大切ですが、笑顔がもっと大切だと思います。そして、演技中の笑顔は練習から「たし算の考え方」で取り組んでいると生まれてきます。運動会当日、たくさんのあざ二っ子の笑顔＝スマイルあざ二っ子の姿が見られることを楽しみにしています。